

JENESYS2016 招へいプログラムの記録
対象国：ASEAN 10 カ国及び東ティモール
テーマ：日 ASEAN 青少年スポーツ交流（ラグビー）の記録

1. プログラム概要

ASEAN10 カ国及び東ティモールより、ラグビーに関心を有し、今後の活躍が期待される青少年及び各国引率者、ラグビー協会関係者等 260 名が、3 月 15 日～3 月 22 日の 7 泊 8 日の日程で来日しました。同世代の日本人を含めた各国参加者との混成でタグラグビーのチームを作り、練習・交流試合を行ったことで、日本人および各国への理解・友好を深めました。スポーツに関するプログラムのほか、歴史的建造物や先端技術の施設見学を通じて幅広く日本を理解し、様々な体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】 260 名（インドネシア 24 名、カンボジア 24 名、シンガポール 24 名、タイ 24 名、東ティモール 24 名、フィリピン 24 名、ブルネイ 23 名、ベトナム 24 名、マレーシア 23 名、ミャンマー 23 名、ラオス 23 名 ※50 音順）

【訪問地】 東京都、静岡県

2. 日程

3 月 15 日（水） 羽田/成田国際空港より入国

静岡県へ移動、【オリエンテーション】

3 月 16 日（木）

【アセアン概要講義】アセアン事務局による講義

【日本理解講義、基調講演】「ラグビー界における日本の貢献について」

【スポーツ交流】タグラグビールール説明、合同練習

3 月 17 日（金）

【講義】「ラグビーワールドカップ 2019 の概要」

【地域概要／講義】「静岡県概要紹介とラグビーワールドカップ 2019 へ向けた静岡県の取組」

【視察】スタジアムツアー（於：エコパスタジアム）

【スポーツ交流】タグラグビー合同練習

3 月 18 日（土）

【スポーツ交流】タグラグビー合同練習

【スポーツ交流】フレンドリーマッチ

3 月 19 日（日）

【スポーツ交流】日本チームを交えてのタグラグビー合同練習、
フレンドリーマッチ、【関係者との交流会】、【ワークショップ】

3月20日(月)

【歴史的建造物視察/世界文化遺産】富士山本宮浅間大社
都内へ移動、【最先端技術視察】日本科学未来館

3月21日(火)

【成果報告会】

【歴史的建造物視察】浅草寺・仲見世通り

【表敬】小田原潔外務大臣政務官への表敬

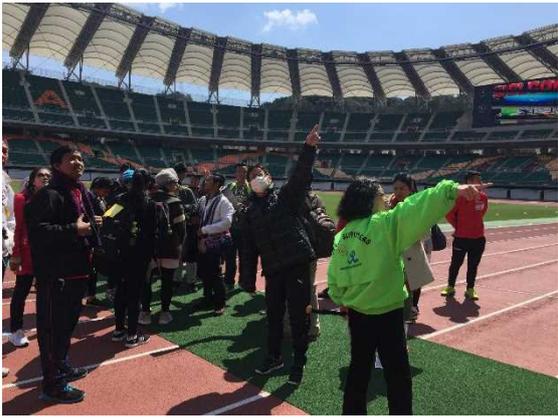
http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002046.html

3月22日(水)羽田/成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

共通プログラム(東京都)(静岡県)

	
<p>3/15 【来日オリエンテーション】</p>	<p>3/16 【日本理解講義／基調講演】</p>
<p>3/15 【Orientation】</p>	<p>3/16 【Lecture on Japanese Culture / Key Note Lecture】</p>
	
<p>3/16 【スポーツ交流】タグラグビー合同練習</p>	<p>3/17 【地域概要講義】静岡県概要紹介</p>
<p>3/16 【Sports Exchange】 Joint Tag Rugby Training</p>	<p>3/17 【Lecture on Outline of the Region】 Introduction of Shizuoka Prefecture</p>

	
<p>3/17 【視察】エコパスタジアム スタジアムツアー</p>	<p>3/17 【スポーツ交流】タグラグビー合同練習</p>
<p>3/17 【Observation】 ECOPA Stadium Tour</p>	<p>3/17 【Sports Exchange】 Joint Tag Rugby Training</p>
	
<p>3/17 【スポーツ交流】タグラグビー合同練習</p>	<p>3/18 【スポーツ交流】タグラグビー合同練習</p>
<p>3/17 【Sports Exchange】 Joint Tag Rugby Training</p>	<p>3/18 【Sports Exchange】 Joint Tag Rugby Training</p>
	
<p>3/18 【スポーツ交流】フレンドリーマッチ</p>	<p>3/19 【スポーツ交流】フレンドリーマッチ</p>
<p>3/18 【Sports Exchange】 Friendly Tag Rugby Match</p>	<p>3/19 【Sports Exchange】 Friendly Tag Rugby Match</p>

	
3/19 【交流会】	3/19 【交流会】
3/19 【Exchange Party】	3/19 【Exchange Party】
	
3/19 【ワークショップ】	3/20 【歴史的建造物視察】 富士山本宮浅間大社
3/19 【Workshop】	3/20 【Observation of Historical Landmark】 Fujisan Hongu Sengentaisha Shirine
	
3/20 【最先端技術】 日本科学未来館	3/21 【成果報告会】
3/20 【Observation of Cutting-Edge Technology】 National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)	3/21 【Reporting Session】

	
<p>3/21 【歴史的建造物視察】 浅草寺</p>	<p>3/21 【表敬】 政府関係者への表敬</p>
<p>3/21 【Observation of Historical Landmark】 Sensoji Temple</p>	<p>3/21 【Courtesy Call】</p>
	
<p>3/21 【表敬】 小田原潔外務大臣政務官への表敬 http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002046.html</p>	
<p>3/21 【Courtesy Call】 Mr. Kiyoshi ODAWARA, Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs</p>	

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ インドネシア 学生

日本に来ることができて、とても楽しかったです。日本は、規律、知識の広さという点で、とても素晴らしい国です。また、ラグビーを通じて、コミュニケーションをとること、協力すること、連帯すること、勇気を持つことの大切さを学びました。このプログラムが来年も続けられることを願っています。

◆ カンボジア 学生

今回のプログラムで、最も興味を持ち、印象に残っているのは、ラグビー体験です。特に、各国の

参加者との混成チームでプレイしたことです。日本人のコーチの先生たちは、私たちが楽しく過ごせるようにと、一生懸命楽しく教えてくださり、本当に良くしてくださいました。日本人は、本当に規律正しく生活していると感じました。

◆ シンガポール 学生

日本人は常に時間を守っていました。集合時間の5分前には必ず集合しているのです。また、清潔感があり、ごみ箱がない場合は、自身のごみは捨てずに持ち帰ります。私にはできないことだと思います。これはおそらく、責任感の強さと他人を思いやる精神だと感じました。

◆ タイ 学生

日本・アセアン加盟国・東ティモールからの参加者が触れ合う交流の機会となりました。また、スポーツや私達が知らなかったことを色々と一緒にいき、スポーツの練習をすることによって、団結し、お互いに良く協力し合えたことに感動しています。

◆ 東ティモール 学生

説明や実践を通じて、ラグビーのルールを学ぶことができました。また、ラグビーだけでなく、環境をきれいに保つことや、静岡県概要など、様々なことを学ぶことができました。

◆ フィリピン 学生

私にとって、最も思い出深いプログラムは、ラグビー交流と、交流会です。最初は、トレーニングや試合をハードだと思っていましたが、実際はそんなにハードではありませんでした。また、ラグビーは単に身体のトレーニングではなく、プレイする中で価値観を学ぶことができるということがわかりました。日本人スタッフの方々は、私たちが自分の能力を高め、他の訪日団と上手く交流する手助けをしていただきました。忘れることができないもう一つのプログラムは、交流会のパフォーマンスとして行われたダンスや歌でした。パフォーマンスは、自分たちの文化を他の人々に見せる機会であっただけでなく、他の文化を鑑賞することができました。また、言語や文化の障壁が、異なる民族間で強い友好関係を結んだり、皆が望んでいる繁栄のため互いに助け合う努力をしたりすることを妨害するものではないことを理解するきっかけになりました。私たちは、ともに助け合い、アジア全体の成功に向かってゆっくり歩むことができると感じます。

◆ ブルネイ 学生

今回が初めての日本訪問でした。滞在中、ずっと夢のように感じていました。アセアン各国の学生と経験を共にできて、満足しています。帰国後も関係を続けられる親しい友人ができました。英語・マレー語・日本語という三つの言語を駆使しなければならなかったのは今回が初めてでした。日本人と話す時、日本語を学ぶことができ、楽しかったです。もっと日本語を勉強しなければ、という気になりました。今回の訪問では日本に関して長く続くであろう、忘れられない「気持ち」を得ただけでなく、日本を焦がれる「気持ち」が芽生えました。そこには私をもっと知りたいと思うようになった日本の魅力だけでなく、ここで出会った友達も含まれます。近い将来、そして2019年に、また日本を訪れたいと思います。

◆ ベトナム学生

同年代の友達との交流と、日本の先進技術の触れ合いが、強く印象に残っています。日本人をはじめ、アセアン各国の友達はとても親切でした。皆は私のことを歓迎してくれました。日本人の友達はおもてなしの心を持っていて、正直であると感じました。また、日本の技術はいうまでもなく、非常に進んでいます。それは自動販売機や自動椅子、お弁当を温める発熱剤などによく表れています。日本のことを、皆にもっと発信したいと思っています。

◆ マレーシア 学生

このプログラムに関わっている人たちや、日本社会を見ると、力を合わせて責任を持って仕事を成し遂げることが大変大切なこととされていることがわかります。また、言葉の通じない人たちとも少なくともコミュニケーションをとろうと努力することが大切です。自分の責任を認識し自分を律することが、成功の秘訣だということも学びました。

◆ ミャンマー 学生

このプログラムに参加し、日本人の規則正しさが印象に残っています。街中に、ごみがひとつもないことに驚きました。日本人は時間厳守であることも知りました。日本の緑あふれる景色と、いつも感謝の言葉を述べる礼儀正しさが、私の頭の中に残っています。「すべての職業に誇りを持つべき」というミャンマーの言い伝えは、日本で実現されています。このプログラムから、精神的な栄養を多く得ることができました。人それぞれ意見を持ち、誰が正しいか、誰が間違いかを争うことなく、対話により皆のために頑張るべきであることをワークショップを通じて学びました。タグラグビーからも、掛け替えのないことを学びました。ワンマンプレーをせず、チームワーク重視の“*One for All, All for One*”の精神が印象に残っています。

◆ ラオス 学生

日本で感銘を受けたのは、日本人の高い衛生観念、緊急時等における注意事項の徹底など、安全に対する意識、我慢強さ、規律正しさです。一方で、笑顔を絶やさない日本人の民族性にも感動しました。技術力の高さにも驚かされました。プログラムを通じて、日本人や各国からの団員にたくさんの友人ができたことが、とてもうれしかったです。清潔な宿泊施設で、各国の団員たちと寝食を共にできたのも良い経験でした。それも、今回の交流における各プログラムが綿密に調整されていたことの賜物です。

5. 受入れ側の感想

◆ 交流参加 学生

言葉が違って、スポーツを通じてつながることができるということを、身を以って経験できました。こういった活動を積極的に行うことで、世界平和につながっていけばいいなと思いました。このような機会を作っていただき、ありがとうございました。

◆ 交流参加 学生

様々な国籍の方と交流することができました。言語がうまく伝わらなくても、キーワードをもとに指導することができました。言葉が伝わらない分、難しいことが多かったですが、

簡単な言葉を使ってコミュニケーションをとることができ、とても貴重な体験になりました。

◆ 交流参加 学生

初めてこのようなプログラムに参加して、言葉でもジェスチャーでも、どちらでも積極的に使えば、外国の人たちにわかりやすく伝えることが出来たのではないかと思います。もう少し英語が使えれば良かったと実感しました。

◆ 交流参加 コーチ

訪日団の4日間での成長に驚きました。真剣に指導すれば、彼らも真剣に答えてくれたので、やりがいを感じました。また機会があれば参加したいです。

◆ 交流参加 コーチ

とても貴重な体験ができたと感じます。特に言葉もラグビーも知らない人にラグビーを通じて笑顔がみられた時。また、共通の言葉（キーポイント）などの作成の重要さや、その活用によって成功できると感じます。

6. 参加者の対外発信

 <p>Instagram post by yangtreece (Fuji, Shizuoka) showing a group of people standing in front of Mt. Fuji. The caption includes a comment: "rayhankc_ nixoncarlotta_ and 54 others yangtreece so close but so far away".</p>	 <p>Facebook post by Madanoch Phal with Nou Solida and Nou Sovanny. Text: "Training abt rugby sport in 10 degree celcius #JENESYS2016 #JICE #CAMBODIA #16317". Shows a group photo of people after training.</p>
<p>【インドネシア】 近くまで来たけれど、やっぱり遠いです。 (Instagram)</p>	<p>【カンボジア】 タグラグビー練習後の集合写真 気温 10 度の中でラグビーのトレーニング (Facebook)</p>
<p>【Indonesia】 Mt. Fuji - still far from here (Instagram)</p>	<p>【Cambodia】 Training about Rugby in 10 degree celcius (Facebook)</p>



【シンガポール】
5日目：タグラグビーフレンドリーマッチ
(Instagram)



【タイ】
時之栖にて (Facebook)

【Singapore】
Day 5: Tag Rugby friendly match
(Instagram)

【Thailand】
at Toki no Sumika (Facebook)



【東ティモール】
ほかの国の友達と (Facebook)



【フィリピン】
JENESYS2016 のおかげで多くの新しいことを学べました。初めてラグビーをし、そのとりこになりました。自国に戻るの寂しいくらいです。世界各国から来た多くの友達は今や家族の一員のようなのです。素敵な体験が出来たことへの感謝の気持ちは言葉では言い表せません。どうもありがとうございました！ (Facebook)

<p>【Timor-Leste】 With Friends from Myanmar, Philippines♡ (Facebook)</p>	<p>【Philippines】 JENESYS2016 made me experience a lot firsts. It was my first time playing rugby and I immediately loved the sport, first time in Japan and now I am really sad because we need to back to our country, first time meeting new friends from other countries which became my family across the globe and a lot more. I can't express my happiness for being part of this wonderful experienced. Domou arigatou gozaimasu! (Facebook)</p>
 <p>Instagram post by ainggelagah_ showing a group of people in yellow and blue uniforms sitting on a grassy field with Mt. Fuji in the background. The caption reads: "Such a beautiful place for training, with Mt. Fuji as the background. #JENESYS2016 #JICE #BRUNEI #rugby #bruneirugby".</p>	 <p>Facebook post by Linh showing a woman interacting with a white Pepper robot in a hotel lobby. The caption reads: "Cute 'Pepper'!".</p>
<p>【ブルネイ】 静岡県裾野市うさぎ島グラウンドにて。 富士山を背景とした美しい場所でのタグ ラグビーの練習 (Instagram)</p>	<p>【ベトナム】 日本の科学技術 ペッパーはかわいい！日本の最先端科学技 術はホテルでも至るところで見られる。 (Facebook)</p>
<p>【Brunei】 In the Ground of Usagijima, Susono City, Shizuoka Prefecture. Such a beautiful place for training tag rugby, with Mt. Fuji as the background. (Instagram)</p>	<p>【Vietnam】 Cutting-Edge Technology in Japan Cute “Pepper”! We can feel Japanese Technology even in our hotel. (Facebook)</p>



【マレーシア】
 エコパスタジアムで
 一人が皆のことを思い、皆が一人を思
 う！
 (Instagram)

【ミャンマー】
 ・「D チーム」のチームメイトやコーチと。
 また日本にいかなきゃ！
 ・タグラグビーを知りたい人へ
 タグラグビーについて動画を用いて説明
 (Instagram)

【Malaysia】
 Ecopa Stadium, Fukuroi City, Shizuoka
 Prefecture
 “One for all and all for one”
 (Instagram)

【Myanmar】
 ・ My friends and my teachers and my team
 D.I have to try to go to Japan again.
 ・ For those who want to know what Tag
 Rugby is...
 What is tag Rugby?
 (Instagram)



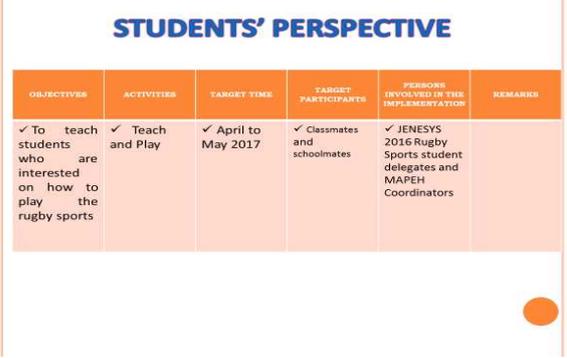
【ラオス】
 今回訪日することができて幸せ。多くの体

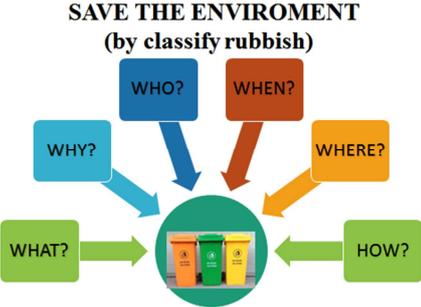
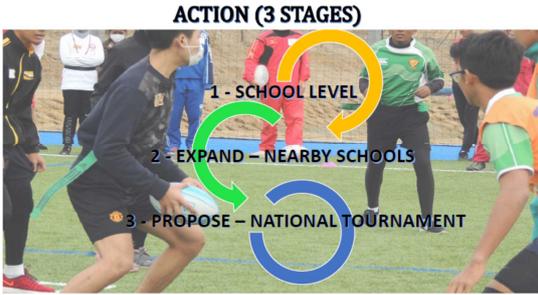
験ができ、たくさんの友人ができた。
(Facebook)

【Laos】
Happy to stay in Japan. I had many
experience and made many friends
(Facebook)

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 <p>Kedisiplinan Masyarakat Jepang</p> <p>Disiplin</p> <ul style="list-style-type: none"> • Tepat Waktu • Kebudayaan dan Tata Krama Yang Tinggi • Menjaga Kebersihan • Menjaga Lingkungan Hidup • Menjaga Keamanan Lingkungan <p>Tempat Sampah Berdasarkan Jenisnya</p> 	 <p>តំណែងផ្សព្វផ្សាយព្រឹត្តិការណ៍ស្របច្បាប់សេដ្ឋកិច្ចជាតិ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ គំរោង: ការចែករំលែកបទពិសោធន៍នៅប្រទេសជប៉ុន ▶ គូបដេតុ: ចំណុចព្រឹត្តិការណ៍សេដ្ឋកិច្ចជាតិដែលទទួលបានពីការទស្សនៈជិវិត ▶ ពេលវេលា: ខណៈវេលាព្រឹក្សាដំបូងបំផុត ▶ អ្នករៀន: អ្នកដែលចូលរួមចំណែកសិក្សាស្រាវជ្រាវ ▶ គោលដៅ: លោកគ្រូ អ្នកគ្រូ គ្រូសិស្ស ចម្រុះ ទិវិត ▶ ទីតាំងសកម្មភាព: បទពិសោធន៍បច្ចេកទេសដែលទទួលបានពីប្រទេសជប៉ុន ▶ ឧទ្ទេសនា: ផ្សព្វផ្សាយតាមប្រព័ន្ធសង្គម Facebook, Instagram ជាដើម
<p>【インドネシア】 日本人の規律についての記事を学校新聞に掲載する</p>	<p>【カンボジア】 日本についての知識と日本での経験 写真などを使い Facebook、Instagram などの SNS で発信</p>
<p>【Indonesia】 To publish the article about Japanese discipline.</p>	<p>【Cambodia】 Share about Japan and our experience using photos and videos on Instagram, Facebook etc.</p>
<p style="text-align: center;">Action Plan</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Share photos and videos on social media e.g. Instagram, Facebook & Snapchat 2. Participants will do a presentation to teachers and principals to share their learning from this trip 3. Participants will conduct a school assembly talk to share about their experience and information about Japan <p>By 31st Mar 2017</p>	 <p>กลุ่มเป้าหมาย (Target group)</p> <p>เยาวชนในภูมิภาคของประเทศไทยที่มีอายุตั้งแต่ 13-15 ปี Youths in regional area who are at the age of 13-15 years old.</p>
<p>【シンガポール】 インスタグラム、フェイスブック、スナップチャット等の SNS に写真やビデオを載せて学</p>	<p>【タイ】 タイの各地方の 13~15 歳の青少年を対象に、ラグビーの正しく安全な楽しみ</p>

<p>んだことを情報発信する。2017年3月31日までに実施。</p>	<p>方を指導する。</p>												
<p>【Singapore】 Share photos and videos on Instagram, Facebook & snapchat.</p>	<p>【Thailand】 ”Get Into Rugby Thailand” Youth in regional area who are at the age of 13-15 years old.</p>												
 <p>STUDENTS' PERSPECTIVE</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>OBJECTIVES</th> <th>ACTIVITIES</th> <th>TARGET TIME</th> <th>TARGET PARTICIPANTS</th> <th>PERSONS INVOLVED IN THE IMPLEMENTATION</th> <th>REMARKS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓ To teach students who are interested on how to play the rugby sports</td> <td>✓ Teach and Play</td> <td>✓ April to May 2017</td> <td>✓ Classmates and schoolmates</td> <td>✓ JENESYS 2016 Rugby Sports student delegates and MAPEH Coordinators</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	OBJECTIVES	ACTIVITIES	TARGET TIME	TARGET PARTICIPANTS	PERSONS INVOLVED IN THE IMPLEMENTATION	REMARKS	✓ To teach students who are interested on how to play the rugby sports	✓ Teach and Play	✓ April to May 2017	✓ Classmates and schoolmates	✓ JENESYS 2016 Rugby Sports student delegates and MAPEH Coordinators		<p>WHOM? : (To Whom)</p> <p>FOR ALL</p> <ul style="list-style-type: none"> • CHILDREN • HIGH SCHOOL • GENERAL POPULATION <p>WHAT? : (What are you planning on doing)</p> <p>HOW? : (How will you implement your plan)</p> <ul style="list-style-type: none"> • School setting in P.E lesson and co-curriculum activities • Higher institution – establish club • Nationwide – “Bandar Ku Ceria” • Tournaments – collaboration with <ul style="list-style-type: none"> • Co-curriculum Department, Ministry of Education • Brunei Rugby Football Union • Ministry of Culture Youth and Sport
OBJECTIVES	ACTIVITIES	TARGET TIME	TARGET PARTICIPANTS	PERSONS INVOLVED IN THE IMPLEMENTATION	REMARKS								
✓ To teach students who are interested on how to play the rugby sports	✓ Teach and Play	✓ April to May 2017	✓ Classmates and schoolmates	✓ JENESYS 2016 Rugby Sports student delegates and MAPEH Coordinators									
<p>【フィリピン】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の先生スタッフの協力のもとミーティングやセミナーをひらき日本での経験を共有する。又家族親戚とも共有する。 2. 興味ある友人にタグラグビーを教えともにプレイをする。 3. 校内にタグラグビークラブを立ち上げる。 	<p>【ブルネイ】</p> <p>タグラグビーの普及</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校では、体育の授業や副カリキュラム活動において。 2. 高等教育ではクラブ活動において。 3. 全国的には、“バンドル・ク・セリア”という、一般の人々が朝早起きをして、車を止めて健康的な活動をするよう促す活動を通じて。 4. トーナメントを開催。 												
<p>【Philippines】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Share experiences and findings from the program by holding seminars and meetings with teachers’ help and family gatherings. 2. Teach and play rugby with students who are interested in it. 3. Create Rugby club in school 	<p>【Brunei】</p> <p>Promote Tag Rugby</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. In school setting, in physical education classes and co-curriculum activities 2. In higher institutions through club activities, 3. Nationwide, through “Bandar Ku Ceria”, which is a health promotion to encourage people to wake up early in every Sunday morning, stop cars and do healthy activities. 4. Implement tournaments. 												

	
<p>【ベトナム】 ごみの分別をする。 分類されたごみ箱を作り、ごみの種類の絵が描かれているラベルをごみ箱に貼ります。</p>	<p>【マレーシア】 タグラグビーを普及させる 3 ステップ 1. 学校レベル 文化、ラグビーの価値、タグラグビーについて体育の授業や部活で発表する 2. 他の学校へ展開 教育省、青少年スポーツ省、マレーシアラグビー協会の支援でタグラグビーに関して紹介、教え、広める 3. 教育省支援でトーナメントを提唱 小学校から始めて全校トーナメントを開催する</p>
<p>【Vietnam】 Save the environment by classify rubbish.</p>	<p>【Malaysia】 Explain and expand on how to play tag rugby 3 steps 1.School Level By Presentation of Culture, Value of Rugby and Tag rugby By Demonstration of PE and Extra Curriculum Activities 2.Expand to Other School By Introducing of Tag Rugby Module and Teaching and Promoting Supported by Ministry of Education, Ministry of Youth and Sport and MRU 3.Propose Tournament Supported by Ministry of Education By holding National Schools Tournament starting with Primary Schools</p>

<p><u>Our Action Plan</u></p> <p>WHY:</p> <ul style="list-style-type: none"> • To learn and imitate the Japanese life-styles and their cultures. • To notice their disciplined minds and doing the works in right time not to be missed to a split minute. • To know about the tag rugby. <p>WHEN:</p> <ul style="list-style-type: none"> • During the six months after returning from Japan. <p>WHO: (To whom?)</p> <ul style="list-style-type: none"> • High school students and youths. 	<p>Action Plan for Tag Rugby in Lao PDR</p> <p>1. For Students</p> <ul style="list-style-type: none"> • To tell their friends and family to encourage them to play Tag Rugby • Show the Tag Rugby makes them enjoy and healthy on Social Network Services (SNS) <p>2. For Lao Rugby Federation</p> <ul style="list-style-type: none"> • Short Term: organize School Tag Rugby training around Vientiane Capital • Long Term: organize School Tag Rugby training to all province <p>3. For Government:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Short Term: encourage Lao Rugby Federation to organize 1 or 2 competition per year (Youth level and General) • Long Term: try to implement Tag Rugby in Lao National Games
<p>【ミャンマー】</p> <p>関連高校での講演会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本人の習慣・分化を理解し、手本とするように、日本で得た知識を共有。 • 規則正しさ、時間厳守など良い習慣を真似するように伝える。 • タグラグビーのことを普及させることも目的。 	<p>【ラオス】</p> <p>ラオスの人々へタグラグビーの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> • 短期目標：レベル別のタグラグビー大会を開催 • 長期目標：ラオスでタグラグビーのナショナルゲームを開催するようラオスラグビー協会に働きかける。
<p>【Myanmar】</p> <ul style="list-style-type: none"> • To learn and imitate the Japanese life-styles and their cultures. • To notice their disciplined minds and doing the works in right time not to be missed to a split minute. • To know about the tag rugby. 	<p>【Laos】</p> <p>To tell their friends and family to encourage them to play Tag Rugby</p> <ul style="list-style-type: none"> • Short Term: encourage Lao Rugby Federation to organize 1 or 2 competition per year (Youth level and General) • Long Term: try to implement Tag Rugby in Lao National Games